

復興に駆ける！

第12号
平成25年8月14日発行
岩手県立生涯学習推進
センター

一般社団法人 おらが大槌夢広場 企画創発担当理事兼事務局長 臂 徹(ひじ とおる)さん



お話を聞かせてくれた臂さん

臂さんは、2011年3月11日建設コンサルタントとして、国土交通省で打ち合わせをしていた。帰路、庁舎入口付近で、今まで経験したことのない揺れに襲われ、庁舎がこれだけ揺れるのはただ事ではないと思った。テレビには、日本の誇る建設技術をもって築かれた防潮堤を超えて来る津波が映しだされていた。

一関市大東町に祖母の家があり、小さい頃、よく岩手に来ていた臂さんは、岩手で復興に貢献したいと願い、2011年6月より大槌町にて直轄調査業務に従事することになった。そこで知り合った若者たちとともに、産業再生と復興まちづくりの推進、担い手である町民の意識の向上を目指す「おらが大槌夢広場」を同年11月2日に設立した。建設コンサルタントを辞し、企画創発担当理事兼事務局長として、「おらが大槌復興食堂」の開店、震災の経験を伝える語り部ガイド、企業の研修などのナレッジ共有の場のコーディネート、コミュニティサロンの運営など様々な事業に着手した。この他にも、大槌のNPO法人「つどい」の元持氏らが、2012年6月から手がけていた、芸術文化による大槌町まちづくり人材育成事業「ひよっこりひょうたん塾」の運営協力の打診を受け、新しい展開を図ることを考えている。今年度は「平成25年度復興支援担い手の運営力強化実践事業」の採択を受け、復興まちづくりを担う「プロモーター」や「ファシリテーター」、「事務局員」などの専門的人材育成に内容を絞って、座学やワークショップを開催していく予定である。「ひよっこりひょうたん島」の登場人物になぞらえたこの企画は、とても素晴らしいものになりそうである。

臂さんは、宮沢賢治の「装景手記」にある「この国土の装景家達は この野の福祉のために まさしく身をば かけねばならぬ」という一説に触れ、「景色を装う人は大槌の方々であり、その力を引き出す一助に自分はなりたい」と強く語っていた。

連絡先

一般社団法人 おらが大槌夢広場
TEL 0193-55-5120
Email: hiji@oraga-otsuchi.org